

検討会議後に提出された構成員意見

【レボセチリジン塩酸塩】

○長島委員

学会・医会の意見に書かれている通り、「対象疾患からの副鼻腔炎の除外」、「効能・効果からの皮膚炎の除外」「小児に関しては7歳以上」への対応が必要となり、これらがクリアされる必要がある。

シロップ剤も要望の対象になっているが、「7歳以上」という点を考慮し、シロップ剤のスイッチ化は控えるべきではないか。

同効類似薬が複数出ているため、それらと記載の矛盾等が生じないように、記載についてはしっかりと調整していただきたい。

【トレチノイン トコフェリル】

○宇佐美委員

矢口委員からのご説明にあった通り、褥瘡は期別分類、ステージが大事と言う事がございます。現在、保険診療の改定等の方向性におきましても、オンライン診療の推進が検討されており、訪問在宅診療におきましては尚のこと、写真等を提供可能となり医師によるステージの診断ができるようになることから、OTC化は時期尚早かと考えます。